

2023年3月期 第3四半期決算のお知らせ

東京海上日動あんしん生命保険株式会社(社長 川本 哲文)の2023年3月期第3四半期決算(2022年4月1日～2022年12月31日)の業績をお知らせします。

1. 契約の状況

新契約年換算保険料は、383億円(前年同期比102.6%)となりました。

保有契約年換算保険料および保有契約件数は、8,011億円(前年度末比98.8%)、628万件(同101.2%)となりました。

2. 損益の状況

基礎利益は、前年同期比231億円減益の166億円となりました。

四半期純利益は、同159億円減益の146億円となりました。

3. 総資産の状況

総資産は、前年度末から6,581億円減少し、8兆7,531億円(前年度末比93.0%)となりました。

4. 健全性の指標

保険金等の支払能力を示すソルベンシー・マージン比率は、1,072.6%と引き続き高い水準を確保しており、優れた健全性を示しています。

5. その他、トピックス

四半期純利益は、コロナ関連の給付金や為替ヘッジコストの増加等により減益となりました。

【主要業績】

(単位:億円、千件、%)

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年同期比
新契約年換算保険料(※1)	373	383	102.6
新契約件数(※1)	298	303	101.9
保険料等収入	5,982	5,876	98.2
基礎利益(※2)	397	166	41.7
四半期純利益	306	146	47.8

(単位:億円、千件、%)

	2021年度末	2022年度 第3四半期末	前年度末比
保有契約年換算保険料(※1)	8,108	8,011	98.8
保有契約件数(※1)	6,207	6,281	101.2
保有契約高(※1)	306,748	303,167	98.8
総資産	94,113	87,531	93.0

(※1)本項目については、個人保険・個人年金保険合計の数値です。

(※2)2022年度第1四半期より、為替に係るヘッジコストを基礎利益の算出に含めており、2021年度第3四半期についても同様の変更を行い表示しています。

<当社の格付(2023年2月14日現在)>
S&P 保険財務力格付 A+

2023年3月期 第3四半期決算のお知らせ 目次

1. 主要業績	P 1
保有契約高及び新契約高		
年換算保険料		
2. 四半期貸借対照表	P 2
3. 四半期損益計算書	P 3
経常利益等の明細（基礎利益）		
4. 資産運用関係（一般勘定）	P 6
有価証券の時価情報		
5. ソルベンシー・マージン比率	P 7
（参考）実質資産負債差額		
6. 特別勘定の状況	P 8
7. 保険会社及びその子会社等の状況	P 8

1. 主要業績

保有契約高及び新契約高

保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	前事業年度末 (2022年3月31日)				当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個 人 保 険	5,731	102.6	287,110	99.0	5,822	101.6	284,183	99.0
個 人 年 金 保 険	475	96.4	19,638	95.5	459	96.6	18,984	96.7
団 体 保 険	-	-	19,787	93.7	-	-	19,742	99.8
団 体 年 金 保 険	-	-	30	99.3	-	-	27	90.4

新契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)				当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個 人 保 険	298	112.4	16,554	130.8	303	101.9	15,165	91.6
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	115	119.0	-	-	240	207.5
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-

年換算保険料

保有契約

(単位:億円、%)

区 分	前事業年度末 (2022年3月31日)				当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)			
			前年度末比				前年度末比	
個 人 保 険			6,856	99.8			6,835	99.7
個 人 年 金 保 険			1,252	94.1			1,175	93.9
合 計			8,108	98.9			8,011	98.8
	うち医療保障・ 生前給付保障等		2,291	106.1			2,364	103.2
	うち医療・がん		1,915	103.7			1,957	102.2

新契約

(単位:億円、%)

区 分	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)				当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			
			前年同期比				前年同期比	
個 人 保 険			373	124.5			383	102.6
個 人 年 金 保 険			-	-			-	-
合 計			373	124.5			383	102.6
	うち医療保障・ 生前給付保障等		173	109.0			168	96.7
	うち医療・がん		111	79.1			115	103.4

2. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前事業年度末 (2022年3月31日)		当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)		比較増減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
(資産の部)		%		%	
現金及び預貯金	62,153	0.66	78,838	0.90	16,685
有価証券	9,129,863	97.01	8,384,806	95.79	△ 745,057
国債	7,941,635		7,178,710		△ 762,924
地方債	4,811		5,610		799
社債	502,226		526,214		23,988
株式	155		189		34
外国証券	513,203		503,879		△ 9,323
その他の証券	167,832		170,200		2,368
貸付金	93,931	1.00	94,677	1.08	745
保険約款貸付	93,931		94,677		745
有形固定資産	1,554	0.02	1,371	0.02	△ 183
無形固定資産	11,695	0.12	15,079	0.17	3,384
代理店貸	297	0.00	251	0.00	△ 46
再保険貸	1,301	0.01	2,006	0.02	705
その他の資産	110,562	1.17	115,967	1.32	5,405
繰延税金資産	620	0.01	60,861	0.70	60,241
貸倒引当金	△ 667	△ 0.01	△ 717	△ 0.01	△ 50
資産の部合計	9,411,312	100.00	8,753,142	100.00	△ 658,169
(負債の部)					
保険契約準備金	7,719,768	82.03	7,925,708	90.55	205,939
支払準備金	71,943		85,497		13,553
責任準備金	7,591,055		7,762,708		171,652
契約者配当準備金	56,770		77,502		20,732
代理店借	7,121	0.08	6,100	0.07	△ 1,021
再保険借	2,364	0.03	2,092	0.02	△ 272
その他の負債	1,326,346	14.09	674,843	7.71	△ 651,502
債券貸借取引受入担保金	1,157,261		522,642		△ 634,619
未払法人税等	6,130		4,159		△ 1,970
リース債務	118		43		△ 74
その他の負債	162,836		147,997		△ 14,838
退職給付引当金	8,941	0.10	9,412	0.11	471
特別法上の準備金	18,267	0.19	19,083	0.22	815
価格変動準備金	18,267		19,083		815
負債の部合計	9,082,811	96.51	8,637,241	98.68	△ 445,570
(純資産の部)					
資本金	55,000	0.58	55,000	0.63	-
資本剰余金	41,860	0.44	41,860	0.48	-
資本準備金	41,860		41,860		-
利益剰余金	110,188	1.17	37,552	0.43	△ 72,636
利益準備金	13,140		13,140		-
その他利益剰余金	97,048		24,412		△ 72,636
繰越利益剰余金	97,048		24,412		△ 72,636
株主資本合計	207,048	2.20	134,412	1.54	△ 72,636
その他有価証券評価差額金	129,465	1.38	3,952	0.05	△ 125,513
繰延ヘッジ損益	△ 8,013	△ 0.09	△ 22,462	△ 0.26	△ 14,449
評価・換算差額等合計	121,452	1.29	△ 18,510	△ 0.21	△ 139,963
純資産の部合計	328,501	3.49	115,901	1.32	△ 212,599
負債及び純資産の部合計	9,411,312	100.00	8,753,142	100.00	△ 658,169

3. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	比較増減
		金 額	金 額	
経 常 収 益		705,523	724,144	18,621
保 険 料 等 収 入		598,240	587,676	△ 10,563
(うち保険料)	(593,257)	(581,863)	(△ 11,393)
資 産 運 用 収 益		103,420	133,831	30,411
(うち利息及び配当金等収入)	(79,250)	(78,469)	(△ 781)
(うち有価証券売却益)	(6,625)	(53,738)	(47,113)
(うち為替差益)	(378)	(1,572)	(1,194)
(うち特別勘定資産運用益)	(17,055)	(-)	(△ 17,055)
そ の 他 経 常 収 益		3,862	2,636	△ 1,226
経 常 費 用		668,282	679,989	11,707
保 険 金 等 支 払 金		304,175	343,023	38,847
(うち保険金)	(38,038)	(41,016)	(2,978)
(うち年金)	(39,087)	(34,022)	(△ 5,064)
(うち給付金)	(40,788)	(59,446)	(18,657)
(うち解約返戻金)	(174,793)	(196,784)	(21,990)
(うちその他返戻金)	(5,884)	(5,396)	(△ 488)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		255,971	185,208	△ 70,763
支 払 備 金 繰 入 額		3,740	13,553	9,813
責 任 準 備 金 繰 入 額		252,229	171,652	△ 80,577
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		1	1	0
資 産 運 用 費 用		9,425	49,714	40,289
(うち支払利息)	(1,528)	(1,372)	(△ 156)
(うち有価証券売却損)	(6,804)	(22,313)	(15,509)
(うち金融派生商品費用)	(1,092)	(12,092)	(10,999)
(うち特別勘定資産運用損)	(-)	(13,851)	(13,851)
事 業 費		87,768	91,060	3,291
そ の 他 経 常 費 用		10,941	10,983	42
経 常 利 益		37,241	44,154	6,913
特 別 損 失		1,035	821	△ 214
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 (△戻入) 額		△ 6,479	22,753	29,233
税 引 前 四 半 期 純 利 益		42,685	20,580	△ 22,105
法 人 税 及 び 住 民 税		8,479	11,727	3,248
法 人 税 等 調 整 額		3,549	△ 5,811	△ 9,361
法 人 税 等 合 計		12,029	5,916	△ 6,112
四 半 期 純 利 益		30,656	14,663	△ 15,992

経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	比較増減
基礎利益 A	39,793	16,603	△ 23,189
キャピタル収益	8,162	64,914	56,751
有価証券売却益	6,625	53,738	47,113
為替差益	378	1,572	1,194
その他キャピタル収益	1,159	9,603	8,443
キャピタル費用	10,243	36,632	26,388
有価証券売却損	6,804	22,313	15,509
金融派生商品費用	3,098	13,493	10,395
その他キャピタル費用	340	824	484
キャピタル損益 B	△ 2,080	28,282	30,362
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	37,712	44,886	7,173
臨時収益	4	-	△ 4
個別貸倒引当金戻入額	4	-	△ 4
臨時費用	475	731	255
危険準備金繰入額	475	600	124
個別貸倒引当金繰入額	-	131	131
臨時損益 C	△ 471	△ 731	△ 260
経常利益 A + B + C	37,241	44,154	6,913

（参考）その他項目の内訳

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	比較増減
基礎利益	1,186	△ 7,377	△ 8,564
金利スワップに係る受取・支払利息	2,005	1,401	△ 604
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	340	824	484
マーケット・ヴァリュー・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	△ 114	△ 43	70
為替に係るヘッジコスト	△ 1,044	△ 9,559	△ 8,514
その他キャピタル収益	1,159	9,603	8,443
マーケット・ヴァリュー・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	114	43	△ 70
為替に係るヘッジコスト	1,044	9,559	8,514
その他キャピタル費用	340	824	484
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	340	824	484

（注）当第1四半期累計期間より、為替に係るヘッジコストを基礎利益の算定に含めており、前第3四半期累計期間についても同様の変更を行い表示しています。

この変更に伴い、当第3四半期累計期間および前第3四半期累計期間の基礎利益はそれぞれ9,559百万円、1,044百万円減少し、キャピタル損益はそれぞれ同額増加しています。

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末

1. 企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(2021年6月17日 企業会計基準委員会、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第3四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる四半期財務諸表に与える影響は軽微です。
2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表計上額は935,942百万円です。
3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりです。

当期首現在高	56,770百万円
当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	2,022百万円
利息による増加等	1百万円
契約者配当準備金繰入額	22,753百万円
当第3四半期会計期間末現在高	77,502百万円
4. 配当金支払額
2022年5月18日の取締役会において、以下のとおり決議しています。

配当金の総額	87,300百万円
1株当たり配当額	54,562円50銭
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月17日
5. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

(四半期損益計算書関係)

当第3四半期累計期間

1. 1株当たりの四半期純利益は9,164円80銭です。
2. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

4. 資産運用関係（一般勘定）

有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券）

（単位：百万円）

区 分	前事業年度末 (2022年3月31日)					当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	4,938,205	5,342,004	403,798	574,258	△ 170,459	4,931,103	4,805,590	△ 125,513	306,147	△ 431,660
責任準備金対応債券	2,220,503	1,982,480	△ 238,023	45	△ 238,068	2,128,096	1,601,851	△ 526,245	-	△ 526,245
その他有価証券	1,433,274	1,638,148	204,873	205,753	△ 879	930,843	988,986	58,143	72,551	△ 14,407
公社債	1,121,977	1,302,279	180,302	180,927	△ 625	615,990	663,652	47,662	54,808	△ 7,145
株式	61	99	37	42	△ 4	37	78	41	43	△ 2
外国証券	311,235	335,769	24,533	24,783	△ 249	314,815	325,255	10,440	17,700	△ 7,259
公社債	37,254	37,429	174	424	△ 249	40,834	33,579	△ 7,255	-	△ 7,255
株式等	273,980	298,339	24,358	24,358	-	273,980	291,676	17,695	17,700	△ 4
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	8,591,983	8,962,633	370,649	780,057	△ 409,407	7,990,042	7,396,428	△ 593,614	378,698	△ 972,313
公社債	8,268,370	8,613,643	345,272	754,427	△ 409,154	7,662,874	7,060,782	△ 602,092	360,955	△ 963,047
株式	61	99	37	42	△ 4	37	78	41	43	△ 2
外国証券	323,551	348,890	25,338	25,588	△ 249	327,131	335,567	8,435	17,700	△ 9,264
公社債	49,570	50,550	980	1,229	△ 249	53,150	43,891	△ 9,259	-	△ 9,259
株式等	273,980	298,339	24,358	24,358	-	273,980	291,676	17,695	17,700	△ 4
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）市場価格のない株式等および組合出資金等は、上表に含めていません。

・市場価格のない株式等および組合出資金等の帳簿価額は以下のとおりです。

（単位：百万円）

区 分	前事業年度末 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)
	帳簿価額	帳簿価額
子会社・関連会社株式	131,966	131,966
その他有価証券	13,231	17,000
国内株式	30	85
外国株式	-	-
その他	13,201	16,914
合 計	145,198	148,966

5. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度末 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	648,429	570,643
資本金等	119,748	163,725
価格変動準備金	18,267	19,083
危険準備金	54,323	54,923
一般貸倒引当金	338	291
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・ 繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	161,832	4,940
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	294,676	288,978
負債性資本調達手段等	100,000	100,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性 資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 153,442	△ 111,019
控除項目	-	-
その他	52,685	49,719
リスクの合計額 (B)	114,913	106,403
$\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$		
保険リスク相当額 (R ₁)	16,652	16,689
第三分野保険の保険リスク相当額 (R ₈)	6,790	6,959
予定利率リスク相当額 (R ₂)	5,226	5,259
最低保証リスク相当額 (R ₇)	2,235	2,253
資産運用リスク相当額 (R ₃)	102,311	93,666
経営管理リスク相当額 (R ₄)	2,664	2,496
ソルベンシー・マージン比率 (C) [(A)/{(B)×1/2}]×100	1,128.5%	1,072.6%

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	9,573,971	8,092,648
負債の部に計上されるべき金額の合計額 を基礎として計算した金額 (2)	8,616,301	8,203,347
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	957,670	△ 110,698
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	165,775	△ 651,758
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	791,894	541,059

(注) 実質資産負債差額Aは、保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令第3条および平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づき算出しています。実質資産負債差額Bは、保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6に基づき算出しており、当社は同監督指針Ⅱ-2-2-6の記載に基づく保険金等の支払に備えた流動性資産を確保しています。

6. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：億円)

区 分	前事業年度末 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)
個人変額保険	1,489	1,574
個人変額年金保険	439	363
団体年金保険	-	-
特別勘定計	1,929	1,937

(2) 保有契約高

個人変額保険

(単位：千件、億円)

区 分	前事業年度末 (2022年3月31日)		当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険（有期型）	166	15,115	212	19,792
変額保険（終身型）	26	2,340	25	2,135
合 計	192	17,456	238	21,928

個人変額年金保険

(単位：千件、億円)

区 分	前事業年度末 (2022年3月31日)		当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	3	428	3	361

7. 保険会社及びその子会社等の状況

当社は子会社を2社有していますが、その資産、売上高等からみて、当企業集団の財政状態と経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、当社では連結財務諸表を作成していません。